

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月20日

協議会名: 那珂川町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
有限会社馬頭観光タクシー	<p>運行系統名: 那珂川町デマンドタクシー (通称:なかちゃん号)</p> <p>運行区域: 那珂川町全域 (乗降場所47箇所 町内:46箇所 町外:1箇所)</p> <p>運行日: 月曜日～金曜日</p> <p>運行時間: 7:30～15:30 6便/日 (7:30、9:00、10:30、12:30、 14:00、15:30)</p> <p>運賃: 300円/回</p>		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C <p>【目標】 利用者数:11,000人/年 収支率 :15.3%</p> <p>【実績】 利用者数:7,073人/年 収支率 :9.4%</p> <p>【分析】 人口減少の影響により、利用者数が減少したことが原因と考えられる。 また、高齢化の自動車免許保有率が高く、自家用車等の移動手段が好まれていることも要因の1つと考えられる。</p>	<p>・デマンドタクシーの利用方法や乗降場所、バス路線図等をまとめた公共交通マップを作成・配布し、利用促進を図る。</p> <p>・学校部活動の地域移行等に伴う、学生生徒への利用促進策を検討する。</p>

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月20日

協議会名：	那珂川町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	那珂川町地域公共交通計画 基本方針1:いつまでも利用できる公共交通の確保 基本方針2:暮らしを支える効率的な公共交通の確保 基本方針3:情報発信による利用しやすい環境づくり 上記を踏まえたフィーダー系統の目的・必要性 デマンドタクシーは、主に地域間の移動と公共交通空白地域・公共交通不便地域の解消を担っている。また、高齢化が進み、運転免許返納者や高齢化世帯などが多くなる中で、当該運行は生活交通手段として維持する必要がある。